

令和 2 年度 F D 実施報告書

研究科	流通科学研究科
F D 取り組みへの理念・目標 流通科学研究科教員の教育能力、資質の向上のための組織的取り組みを行うことで、その質的充実を図ることを目的とする。具体的には①教育目標および方針の明確化、②3 ポリシーを踏まえた教育プログラムの検証、③教員の教育・研究のレベル向上である。これらの達成に向けた教員相互の学び合いの場として FD 研修会を位置づけ、活発な意見交換・情報交換に努める。	
回数、期間、 実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
第 1 回 (2020.5.7)	実施事項) 教育目標と方針について 予定) アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの共通理解を図る。アセスメント・ポリシーについても触れる。 実施組織) 流通科学研究科に係わる教員 評価項目) 3 ポリシーの理解度 実施) アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの共通理解を図り、アセスメント・ポリシー（案）を提示・確認し、周知を行った。
第 2 回 (2020.11.5)	実施事項) 学修と教育方法 1 予定) 大学院における学修（含：大学院の将来像）について検討を行う。 （大学院生の学修満足度（学部）の満足度調査の活用、インタビューなど） 実施組織) 流通科学研究科に係わる教員 評価項目) 授業アンケートの活用 実施) 学部の新カリキュラムの完成年度の令和 4 年度以降を見据えて、流通科学研究科の新カリキュラムの検討に入ることが提示された。コロナ禍に際し、研究科の授業は「流通科学部の授業に関する方針」に準ずることを再確認し、共通認識を図った。
第 3 回 (2020.12.28)	実施事項) 学修と教育方法 2 予定) 大学院における教育方法・評価などの検討を行う。 実施組織) 流通科学研究科に係わる教員 評価項目) ルーブリックの導入、PBL の実施、グローバル教育 実施) 新カリキュラムの履修状況、シラバスとルーブリックの具体的な検討を行うため、新シラバス様式に対応すべく「シラバスの作成方法」に関する研修を行った。
第 4 回 (2020.3.4)	実施事項) FD の総括 予定) 検討内容の最終報告 実施組織) 流通科学研究科に係わる教員 評価項目) 2020 年度流通科学研究科 FD の取り組み 「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

	実施）今年度の FD 実施内容を総括し、最終報告を行った。第 7 次中期総合計画（最終年度）を共有し、達成状況と評価を確認するとともに、次年度の FD の課題について検討した。		
「教育システム改革 2014（FD2014）」の進捗状況			
項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	ルーブリックの活用状況の把握と、令和 3 年度のシラバス作成におけるルーブリックの導入の研修を行った。 （関連書類：令和 3 年度シラバス）
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	☒ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	個人の PDCA 実施にとどまっている。今後、新カリキュラムの検討とあわせて、アンケート結果の組織的活用を検討する。
教育方法の改善	アクティブラーニング（特に PBL）の推進 PBL：課題解決型授業	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	コロナ禍によりフィールドワークは制限されたが、各科目において様々な PBL に取組んだ。 （関連書類：第 7 次中期総合計画報告書）
グローバル教育の推進	グローバル教育の導入	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	流通科学研究所・流通科学研究科共催の国際セミナーが国内外の研究者を招聘して開催された。今後、一層の推進を検討する。 （関連書類：第 7 次中期総合計画報告書）

「FD2014」はサイボウズのファイル管理－「FD センター」にあります